

ISベース柱脚工法 Revit ファミリに関して

2025年10月
アイエスケ株式会社

収録されているRevitデータ（.rfa、.rvt）は、Revit2020にて作成されています。


収録データ ・ 柱脚「ISベース_SP.rfa」 ・ タイプカタログ「ISベース_SP.txt」
 ・ 柱形「柱形_SP.rvt」 ・ IFCデータ「SPシリーズ.ifc」

収録されているISベース仕様

適用鋼管	柱脚記号	適用鋼管	柱脚記号
□150	SP151、SP152	□500	SP501、SP502、SP503、SP504、SP505、SP506、 SP507、SP508
□175	SP171、SP172		
□200	SP201、SP202、SP203	□550	SP551、SP552、SP553、SP554、SP555、SP556、 SP557
□250	SP251、SP252、SP253、SP254		
□300	SP301、SP302、SP303、SP034、SP305	□600	SP601、SP602、SP603、SP604、SP605、SP606
□350	SP351、SP352、SP353、SP354、SP355	□650	SP651、SP652、SP653、SP654、SP655、SP656
□400	SP401、SP402、SP403、SP404、SP405、SP406	□700	SP701、SP702、SP703、SP704、SP705
□450	SP451、SP452、SP453、SP454、SP455、SP456、 SP457	□750	SP751、SP752、SP753、SP754
		□800	SP801、SP802、SP803、SP804

ファミリをプロジェクト内にロードするときは、タイプカタログを使用することにより、必要とするファミリタイプのみを選択（複数選択可）してロードできます。
タイプカタログ(.txt)は、ファミリと同じ場所(フォルダ)に保存してください。

＜必要なファミリタイプを選択してロードするには＞

1. Revit プロジェクトまたはテンプレートで、（ファミリをロード）をクリックします。
2. ロードするファミリ（IS ベース_SP.rfa ファイル）を選択します。
タイプ カタログが表示されます。
3. タイプ カタログの[タイプ]列で、ロードするファミリ タイプ(1 つまたは複数)を選択します。
選択の際、[Ctrl]を押すと、複数のタイプを選択できます。また、各列の一番上にあるリストから特定のパラメータを選択して、検索項目を絞り込むことができます。
4. [開く]をクリックします。

＜全タイプのファミリをロードするには＞

IS ベース_SP.rfa ファイルの保存フォルダから、Revit 上のプロジェクトブラウザへ直接ドラッグすることで、全タイプをロードできます。

ISベース_SPファミリはプロジェクト内の構造基礎ファミリ（柱形）上面に配置できます。
作業プロジェクトへ配置し、”柱形_h”パラメータへ柱形高さを入力することにより
アンカーフレーム高さを適宜変更してご使用ください。

柱形_SP.rvt ファイルについて

配筋検討、配筋チェック等にご利用頂けるよう、柱形ファミリに標準仕様配筋を配置したプロジェクトファイルです。

SPシリーズ全74タイプが収録されています。

設計中のプロジェクトファイルへリンク（リンク後にリンクをバインド）することで梁等との配筋検討や干渉チェック等にご使用いただけます。

全タイプが一つのプロジェクトファイルに収録されていますので、必要なタイプのみを別保存してからリンクすることをお勧めします。

なお、使用しているテンプレートによってはリンクをバインドできない場合がございます。デフォルトの「構造テンプレート」であれば、リンクをバインドしてご使用いただけます。

ヒント：鉄筋を実径で表示する場合は、

鉄筋を選択 → ビューの表示状態 編集 → 実径で表示にチェック ☒

<柱形ファミリ>

幅、高さをインスタンスパラメータへ入力してください。

幅パラメータ → w（最小値より小さい数値が入力されると最小値となり、
最大値より大きい数値が入力されると最大値となります）

高さパラメータ → h（最小値より小さい数値が入力された場合は最小値となります）

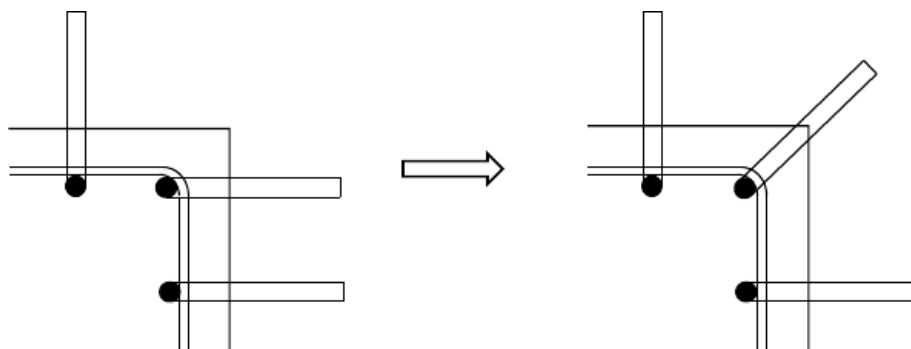
※ 最大値、最小値についてはSPシリーズカタログを参照してください。

<鉄筋>

任意の位置へ鉄筋を移動・調整してください。

～四隅の主筋について～

Revitの仕様により、鉄筋要素を回転させた場合かぶりとの拘束が保持されません。そのため、柱形サイズを変更した後に任意で回転してご使用ください。



I S ベース柱脚工法の設計、施工に関してはカタログ、設計ハンドブックならびに施工マニュアルに基づき実施してください。

注意事項、お願い等を逸脱した上での使用結果、ならびに当サイトよりダウンロードされたデータ内容を変更された上のご使用について当社は、その責任を負いかねますので、ご了承のほどお願い致します。

本データに含まれる基礎柱形の寸法及び鉄筋量等はカタログ等を示す標準柱脚仕様です。
また、データの内容につきましては予告なく変更を行うことがありますのであわせてご了承くださいますようお願いいたします。

以上